

台風について

沖縄県は、台風の通り道になっており、毎年とっていいほど、台風が接近します。

近年は、大型化・強力化する傾向にあることから、備えが必要です。

①風の強さ

平均風速 (m/秒)	予報用語	風の状況
10~15m/秒	やや強い風	傘がさせず、風に向かって歩きにくい。
15~20m/秒	強い風	風に向かって歩けない。
20~25m/秒	非常に強い風 (暴風)	転倒の危険がある。
25~30m/秒		立ってられず、屋外にでることが危険。
30m/秒以上	猛烈な風	

②台風の接近が予想される際の対策

補強する場所は、雨戸、窓ガラス、塀、アンテナ、看板などです。また、外に出している植木鉢は強風で倒されたり、飛ばされる危険があるので、屋内にいれるか、1ヶ所にまとめておくと安全です。



③停電や断水への備えと早めの準備

食料や飲料水、懐中電灯、ラジオ、薬などの備品をチェックしましょう。また、家にとどまるのが不安な場合は町の指定避難所へ避難しましょう。



④気象情報に注意しましょう！

気象情報は、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の情報を収集し、町や防災機関の広報などにも注意しましょう。



大雨・土砂災害について

近年は、大雨による土砂災害が多く発生しています。沖縄県内でも、道路が陥没したり、土砂崩れがおきて住民に避難指示がだされる事態が発生しています。地盤の弱いところや低地にお住まいの方は、気象情報を活用して早めの対応を心がけることが重要です。

①気象注意報・警報

警報等名称	内容	発表基準
大雨注意報	大雨や大雨による河川水量が増大し、浸水・土砂災害が発生するおそれがあると予想される場合。	1時間に40mm以上
洪水注意報		
大雨警報	大雨や大雨による河川水量が増大し、より重大な浸水・土砂災害が発生するおそれがある場合。	1時間に70mm以上
洪水警報		
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。	

②道路の冠水に注意！

- 冠水している道路は、水深や水の中の様子がわからないので、注意が必要です。
- 歩いて通行する場合は、膝の高さを目安に、長い棒などで安全を確認しながら歩きましょう。
- 車での通行は水量によって、エンジンが停止することがあるので、控えましょう。
- 車で通行中、車内に水が侵入してきた場合には、ドアが開く間に車外へ避難しましょう。



③傾斜地・がけ地では土砂災害に注意

- 土砂災害の発生の際には以下の前兆があります。
- パラパラ小石が落ちてくる。
 - 地面にひび割れができています。
 - 斜面から濁った水が流れている。

